

## 児童発達支援自己評価表(事業所職員向け)

公表：令和6年1月24日

配布数：16

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境や体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	14	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独通園児が増え、特にうさぎの部屋で遊ぶのは手狭に感じる。</li> <li>・プレイルームや地域交流室は広過ぎて持て余してしまったり、子どもたちは落ち着かないと思う。パーテーションなどで区切れる方法を検討できないか。</li> </ul>
	職員の配置数は適切であるか。	11	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類確認などを担う職員が現場職員と兼務している為、負担が大きいと感じる。</li> <li>・大丈夫な時もあるがギリギリのときもある。</li> <li>・家族通園は登園数に変動があり、足りないと感じるときと多すぎると感じるよきの差がある。</li> <li>・業務量に対して、職員数は絶対的に不足していると思う。</li> <li>・相談支援や保育所等訪問支援、アフター支援など児童発達支援以外の事業が様々あるが、同じ職員がいくつも担っていて負担が大きいと思う。</li> <li>・職員一人ひとりの質を向上することで賄える部分は多いように感じる。</li> <li>・保育所等訪問支援の対応で職員数が足りないと感じる場合があります。そういう時にケガやアクシデントもあります。職員が「人数が足りない」と不安を抱えないよう職員人数を増やすことが大事だと感じます。</li> <li>・4対1の基準以上は配置されている。平均2.2対1</li> </ul>
	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚支援を取り入れるなどしてわかりやすくしている。</li> </ul>
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	16		
	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修報告をする際、目標について記載し、1ヶ月後の反省をしている。</li> <li>・必要なことはやれていると思うが、提供された情報(議事録、復命書など)は職員自身で情報を仕入れなければならないので、人によって差が出ているとは感じる。</li> <li>・事業所評価、業務改善アンケートを実施し、改善につなげている。</li> </ul>
業務改善	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	16		
	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	16		
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
業務改善	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の研修に参加したり、施設内で全職員向けに研修をおこなったりしている。</li> <li>・支援方法など、基礎的な部分での研修がもっとあってもよいのではと思う。</li> <li>・職員の支援力の底上げが必要だと思う。</li> </ul>
適切な支援の提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との面談の中で、詳しく状況を聞き取りし、計画を作成している。</li> <li>・内容が細分化されすぎて、保護者がどのくらい把握しているのか不明。職員内でも周知しづらい。</li> <li>・面談から計画書の完成までにかかなり時間を要したケースがあった。</li> </ul>
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	15	1	
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16		
	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容が細分化され過ぎて把握しきれない点はある。職員間でも周知しづらい。</li> </ul>
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日の終礼で話し合ったり、当日の終礼で反省を話したりしている。</li> <li>・終礼を中心に、職員間で話し合いながら内容を考えている。</li> </ul>
	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	16		
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適時組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	15	1	
	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の連絡ノートで確認している</li> <li>・前日の終礼で確認されているが、突然の職員の休みの際に対応しきれないことがある。</li> </ul>
	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日終礼をおこない振り返っている。また、それを記録し、終礼に参加できなかった職員もそれを読んで周知できるようにしている。</li> <li>・日々の連絡ノートで確認している</li> </ul>
	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録ソフトを導入してから、他の職員が書いた記録や過去の記録を見返すことが少なくなっているとは思う。</li> </ul>
定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・半期に1回面談を実施しているが、これが妥当かはわからない。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	16		
	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	16		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16		・卒園の際にサポートブックを作成している。 ・必要に応じて移行先を訪問している。
	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16		・卒園の際にサポートブックを作成している。 ・必要に応じて移行先を訪問している。
	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	16		
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	16		
	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	1	
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16		・併行通園が増えたことで保護者やお子さん自身とも接する機会が減り、共通理解を持ちにくくなっている。 ・親子通園、単独通園ともに共通理解は取れている。しかし、全てにおいては難しく、職員の目線での課題と本人が抱える課題と保護者が感じる負担に違いが生まれて、支援に困難さを感じることがある。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援(相談、勉強会、ペアレント・トレーニング等)を行っているか。	15	1	・今年度ペアトレはおこなっていない。 ・保護者向けの勉強会は参加数が減っているので、開催の仕方を検討してもよいと思う。 ・昨年度好評だったペアトレはできていない。
保護者への説明責任等	重要事項説明書をもとに運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16		
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16		
	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	15	1	・保護者からの申し出には丁寧に対応できている。職員側から気づいて対応していることは減ってきているように感じる。
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	15	1	
	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	1	・併行通園が多くなり、出席日数が減っていることで周知が難しくなっている。 ・周知に対する職員間や職員と保護者間で隔たりがある。気づいたときに声を掛け合って柔軟に対応している。
	定期的におたより等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16		・行事については主にホワイトボードに掲示しているが、伝わっていないこともあり、伝え方を検討したい。
	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	16		
障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の福祉まつりは関係者のみの参加で実施し、地域の方の参加は少なかった。</li> <li>・コロナが始まってからは地域住民を招待することを自粛している。</li> <li>・福祉まつりの開催。</li> </ul>
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に訓練している。</li> <li>・策定し書面での周知もおこなっているが、実際に訓練に参加される保護者は限られているので、曜日を固定しないなど方法を検討したい。</li> <li>・保護者、職員とも書面で渡しているが、内容を確認するかは個人によるので、職員でも把握していない人はいるように思う。</li> </ul>
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回、さまざまな想定で防災訓練をおこなっている。</li> <li>・定期的に訓練している。</li> <li>・実際に訓練に参加される保護者は限られているので、曜日を固定しないなど方法を検討したい。</li> <li>・職員の役割が固定された状態で実施しており、休みの職員がいたときは事前に誰が代理をするかまで決めてしまっているため、実際の非常事態に対応できるのかは疑問。</li> <li>・訓練時に書類や非常持ち出し袋の持ち出しはできていない。</li> </ul>
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一覧にしているが、入園時に確認したものを一部の職員が把握しているのみになっているため、定期的な見直しと職員全員が把握しやすい方法に変更したい。</li> </ul>
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員についての表がある。</li> <li>・書面ではなく、保護者の報告を受け対応している。</li> <li>・毎年、表を更新している。</li> </ul>
	アクシデント・インシデント事例集を作成して事業所内で共有しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼時にどういったことがあったかを周知している。</li> <li>・アクシデント・インシデントの事例集を作成している。</li> </ul>
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16		
	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16		